

吉田璋也のデザイン

岐阜県現代陶芸美術館
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

新作民藝運動がめざした未来

2026.7.11 Saturday — 9.27 Sunday

会場: 岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリーI

開館時間: 10:00—18:00 (入館は17:30まで)

休館日: 月曜日(ただし、7月20日[月・祝]、9月21日[月・祝]は開館)、
7月21日(火)、9月24日(木)

主催: 岐阜県現代陶芸美術館、NHK岐阜放送局、NHKエンタープライズ中部

共催: 中日新聞社

特別協力: 鳥取民藝美術館



The Designs of Yoshida Shoya

Venue: Museum of Modern Ceramic Art, Gifu Gallery I

Date: July 11 (Sat.) – September 27 (Sun.), 2026

Hours: 10:00 – 18:00 (Last admission: 17:30)

Closed: Mondays (except July 20, September 21), July 21, September 24

Organized by Museum of Modern Ceramic Art, Gifu, NHK Gifu Station, NHK Enterprises, Inc. Nagoya Branch Office

Co-organized by The Chunichi Shimbun

Special Cooperation by Tottori Folk Crafts Museum

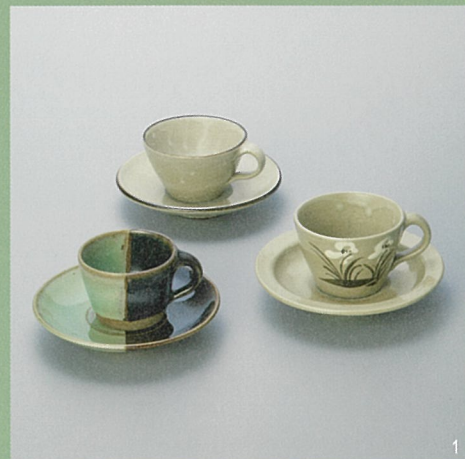


— Imagining the Future with the New Mingei! Movement

吉田璋也のデザイン → 新作民藝運動がめざした未来

鳥取県出身の医師である吉田璋也(1898-1972)は、柳宗悦が提唱した民藝の思想に深く共鳴し、民藝運動に生涯を捧げた人物です。自身を「民藝のプロデューサー」と称した吉田は、陶芸、木工、染織、金工など多岐にわたる分野で、地域の職人らと向き合いながら、現代の生活にふさわしい日用品を自ら指導・デザインしました。それらの生産、流通、販売、普及までを持続的な循環として確立し、また、鳥取砂丘など地元の自然や文化財保護活動に取り組むなど、広い視野と実験精神のもとに実践された吉田の活動は、民藝を通じた社会のデザインでもありました。

本展では、吉田の新作民藝運動の思想と実践の軌跡を、吉田の蒐集品、吉田が手掛けた新作民藝の数々、そして関連資料などを通じて紹介します。



1



2



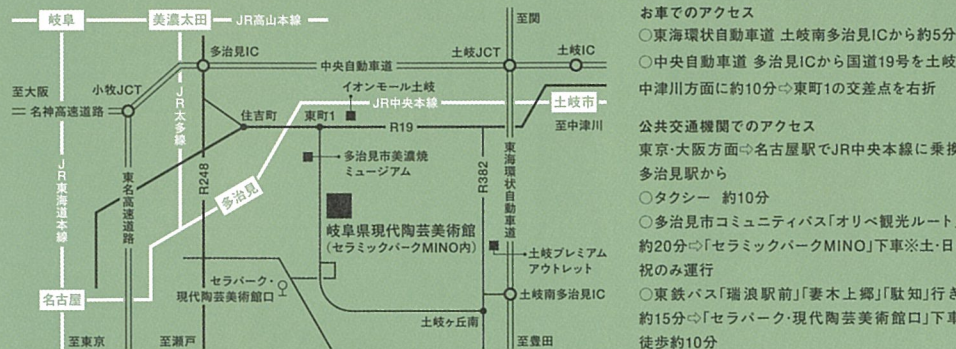
4

1.牛ノ戸焼「緑釉黒釉染分珪碗皿」「灰釉緑鉄釉紅茶碗皿」「鉄絵菖蒲文珪碗皿」1930年代 鳥取民藝美術館蔵 2.牛ノ戸焼「緑釉白釉黒釉三方掛分皿」1957年 鳥取民藝美術館蔵 3.辰巳木工「曲木肘掛店接椅子(民賞椅子)」1957年 鳥取民藝美術館蔵 4.虎尾政次「丸傘電気スタンド」1930年代後半 鳥取民藝美術館蔵 表上.牛ノ戸焼「緑釉黒釉染分小皿」1931年 鳥取民藝美術館蔵 下.向国安婦人会ほか「にくりネクタイ」1931年 鳥取民藝美術館蔵

※作品はすべて吉田璋也デザイン

観覧料 一般 1200円 (1100円)
 大学生 1000円 (900円)
 高校生以下無料

※()内は20名以上の団体料金
 ※以下の手帳等をお持ちの方、および付き添いの方1名まで無料
 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、
 特定医療費(指定難病)受給者証・登録者証



お車でのアクセス

○東海環状自動車道 土岐南多治見ICから約5分
 ○中央自動車道 多治見ICから国道19号を土岐・中津川方面に約10分⇨東町1の交差点を右折

公共交通機関でのアクセス

東京・大阪方面⇨名古屋駅でJR中央本線に乗換
 多治見駅から
 ○タクシー 約10分
 ○多治見市コミュニティバス「オリベ観光ルート」
 約20分⇨「セラミックパークMINO」下車⇨土・日・祝のみ運行
 ○東鉄バス「瑞浪駅前」⇨「妻木上郷」⇨「駄知」行き
 約15分⇨「セラパーク・現代陶芸美術館口」下車
 徒歩約10分

関連プログラム

記念講演会

「民藝をデザインするー吉田璋也の実験民藝学ー」

7月11日④ 14:00-15:30

吉田璋也が新作民藝運動の実践を通じて示した「デザイン」概念、その思想的特徴と今日的意義についてお話いただきます。

講師: 木谷清人(鳥取民藝美術館常務理事)

会場: 岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム

聴講無料(要観覧券)

要事前申込(フォーム)【受付開始:6月6日 10:00-】

ワークショップ

「スリッパウェアでお皿をデザイン」

8月8日④ 13:30-15:30

スリッパウェアの技法にチャレンジ!オリジナルの模様をつくって、お皿をデザインしましょう。

会場: セラミックパークMINO作陶館

定員: 15名

対象: 小学5年生以上

参加費: 1500円

要事前申込(フォーム)【受付開始:7月4日 10:00-】

対談

「わたしたちの民藝とデザイン」

9月12日④ 14:00-15:30

民藝店店主、デザイナー、そして一生活者。さまざまな立場から、今の感覚でとらえる「民藝」と「デザイン」、そしてそれらが重なる場所についてお話いただきます。

講師: 朝倉圭一(やわい屋店主・飛騨民芸協会理事)、

望月未来(プロダクトデザイナー・愛知県立芸術大学

美術学部 デザイン専攻准教授)

会場: 岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム

聴講無料(要観覧券)

要事前申込(フォーム)【受付開始:7月18日 10:00-】

バスツアー

「ウィリアム・モリスと吉田璋也 民藝をめぐる小旅行」

7月19日④ 10:00-16:30 (JR多治見駅・北口発着予定)

豊田市民芸館で開催される展覧会「アーツ・アンド・クラフツとデザイン、そして民藝」と吉田璋也展を学芸員の解説付きで鑑賞する、2館をめぐるバスツアーです。昼食は発酵食をとりいれたごはんを楽しみます。

共催: 岐阜県現代陶芸美術館 友の会

定員: 22名

参加費: 7000円(昼食、観覧料を含む・図録などのお土産付)

要事前申込(専用フォーム)

【友の会優先受付期間:6月6日-6月14日

一般受付:6月15日-】

※7月18日④には、名鉄豊田市駅発着にて同行程のバスツアーが実施されます。お申込みについて詳しくは豊田市民芸館のウェブサイトをご覧ください。

ギャラリートーク

当館学芸員が展示解説を行います。

日時: 8月2日④、9月6日④ 各日14:00-

聴講無料(ただし要観覧券)、事前申込不要

子どもむかデ

8月22日④・23日④

美術館内にキッズルームを設置します。この日の展示室はおしゃべりウェルカム、小さなお子さんのご来館をお待ちしています。
 ※通常開館日の展示室内での会話を制限するものではありません。

この他にも会期中さまざまなプログラムを予定しています。詳細や各イベントの申込方法については当館ウェブサイトをご確認ください。

